

第7回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成9年3月5日（水）
 14：00～15：40
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認
 (2) 第16号科学衛星(MUSES-B)「はるか」の打上げ経過
 について
 (3) 平成8年度宇宙開発委員会外国人招へいについて
4. 資 料 委7-1 第6回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委7-2 第16号科学衛星(MUSES-B)「はるか」の打上げ経過
 について
 委7-3 平成8年度宇宙開発委員会外国人招へいについて

委 7 - 1

第6回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨(案)

1. 日時 平成9年2月26日（水）
 14:00～15:10
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 第1回IGOS（統合地球観測戦略）戦略実施チーム会合の
 結果について
 (3) 地球観測衛星「みどり」海色海温走査放射計（OCTS）
 の状況について
 (4) 第4回アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF-4）
 の開催について
4. 資料 委6-1 第5回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委6-2 第1回IGOS（統合地球観測戦略）戦略実施チーム
 会合の結果について
 委6-3 地球観測衛星「みどり」海色海温走査放射計（OCT
 S）の状況について
 委6-4 第4回アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF
 -4）の開催について
5. 出席者
 宇宙開発委員会委員長代理 野 村 民 也
 宇宙開発委員会委員 山 口 開 生
 " 末 松 安 晴
 " 長 柄 喜 一 郎

関係省庁

郵政大臣官房技術総括審議官 麩 昭 男 (代理)
通商産業省機械情報産業局次長 河 野 博 文 (")

事務局

科学技術庁研究開発局長 落 合 俊 雄
科学技術庁長官官房審議官 大 熊 健 司
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長 千 葉 貢 他

6. 議事

(1) 議事要旨の確認について

第5回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)(資料委6-1)が確認された。

(2) 第1回IGOS(統合地球観測戦略)戦略実施チーム会合の結果について

科学技術庁研究開発局海洋地球課 尾崎専門職より、IGOS構想の概要、第1回IGOS(統合地球観測戦略)戦略実施チーム(SIT)会合において定められた、SITの作業計画とその進め方、次回会合の予定等について、資料委6-2に基づき説明が行われた。

これに関し、委員より、SITの作業を検討するユーザ代表機関、作業計画の詳細な内容、分析グループにおける衛星計画の利用要求への対応状況等について質問があった。

(3) 地球観測衛星「みどり」海色海温走査放射計(OCTS)の状況について

宇宙開発事業団地球環境システム本部 佐木総括開発部員より、地球観測衛星「みどり」海色海温走査放射計(OCTS)が観測画像の一部異常及びチルト動作不調から回復したことについて、資料委6-3に基づき説明が行われた。

これに関し、委員より、現在の素子への水分付着の程度、ヒータによる素子の加熱の頻度、リミット機能の誤動作の原因等について質問があった。

(4) 第4回アジア・太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF-4）の開催について

科学技術庁研究開発局宇宙政策課調査国際室 中西室長より、第4回アジア・太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF-4）の開催の目的、議事の概要等について、資料委6-4に基づき説明があった。

これに関し、委員より、当委員会の招聘による参加国、新たな参加国等について質問があった。

以上

「はるか」大型展開アンテナの展開について

平成9年3月5日

文部省宇宙科学研究所

「はるか」衛星班

第16号科学衛星「はるか」では「大型展開アンテナ」の展開が最大の実験課題ですが、打ち上げ12日後の2月24日から、28日の間に、同アンテナに関わる伸展・展開実験を行い、それらに成功しました。

実験の経過は次の通りです。

2月24日23時28分～同31分 副反射鏡の伸展 - 3本
からなる副反射鏡支持柱を伸展

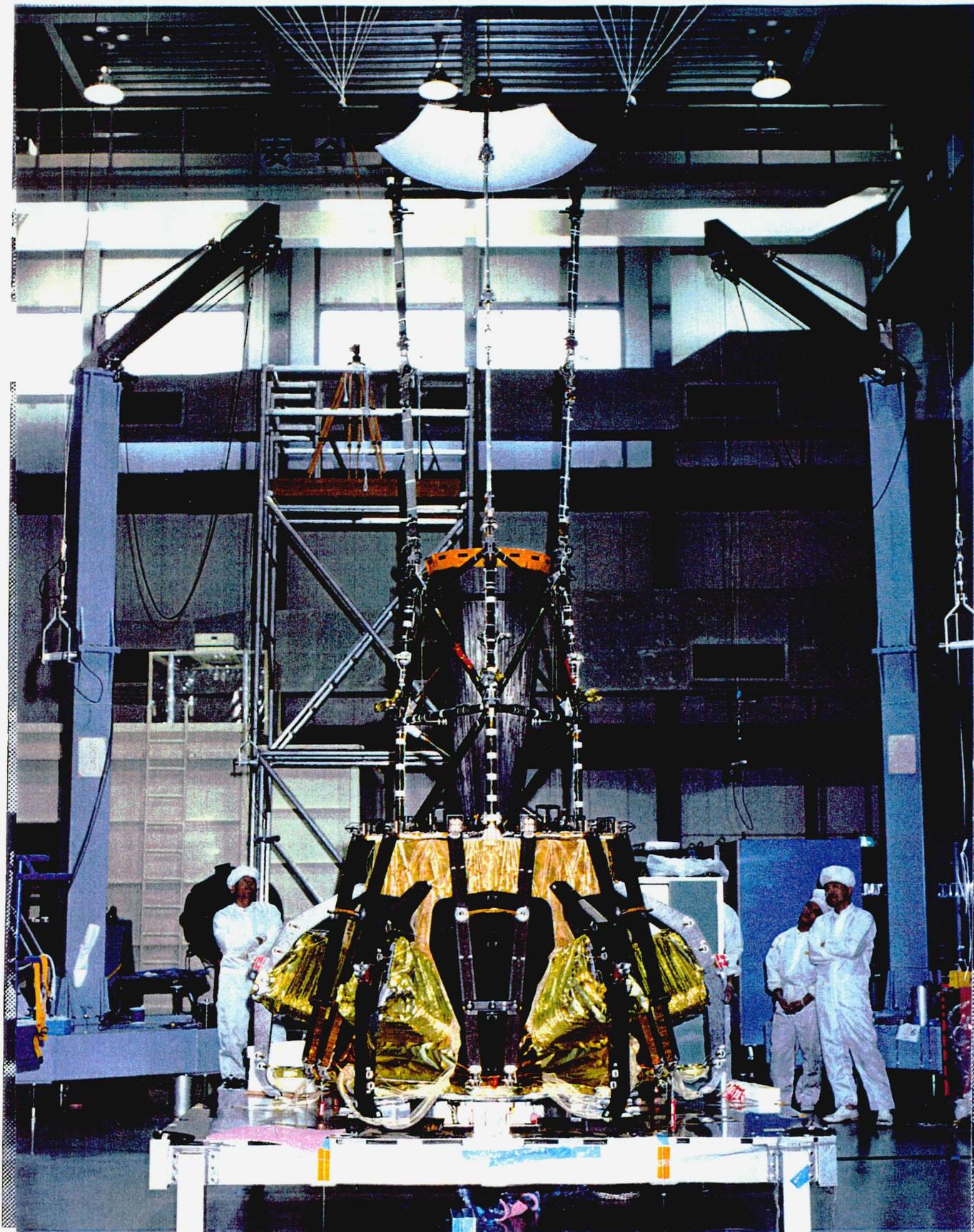
2月27日3時03分～5時53分 主反射鏡の展開 - 鏡面
はほぼ完全に展開された。可視時間の制限があり、
残った作業を翌日継続とした。

2月28日6時00分～6時20分 主反射鏡の展開を完了

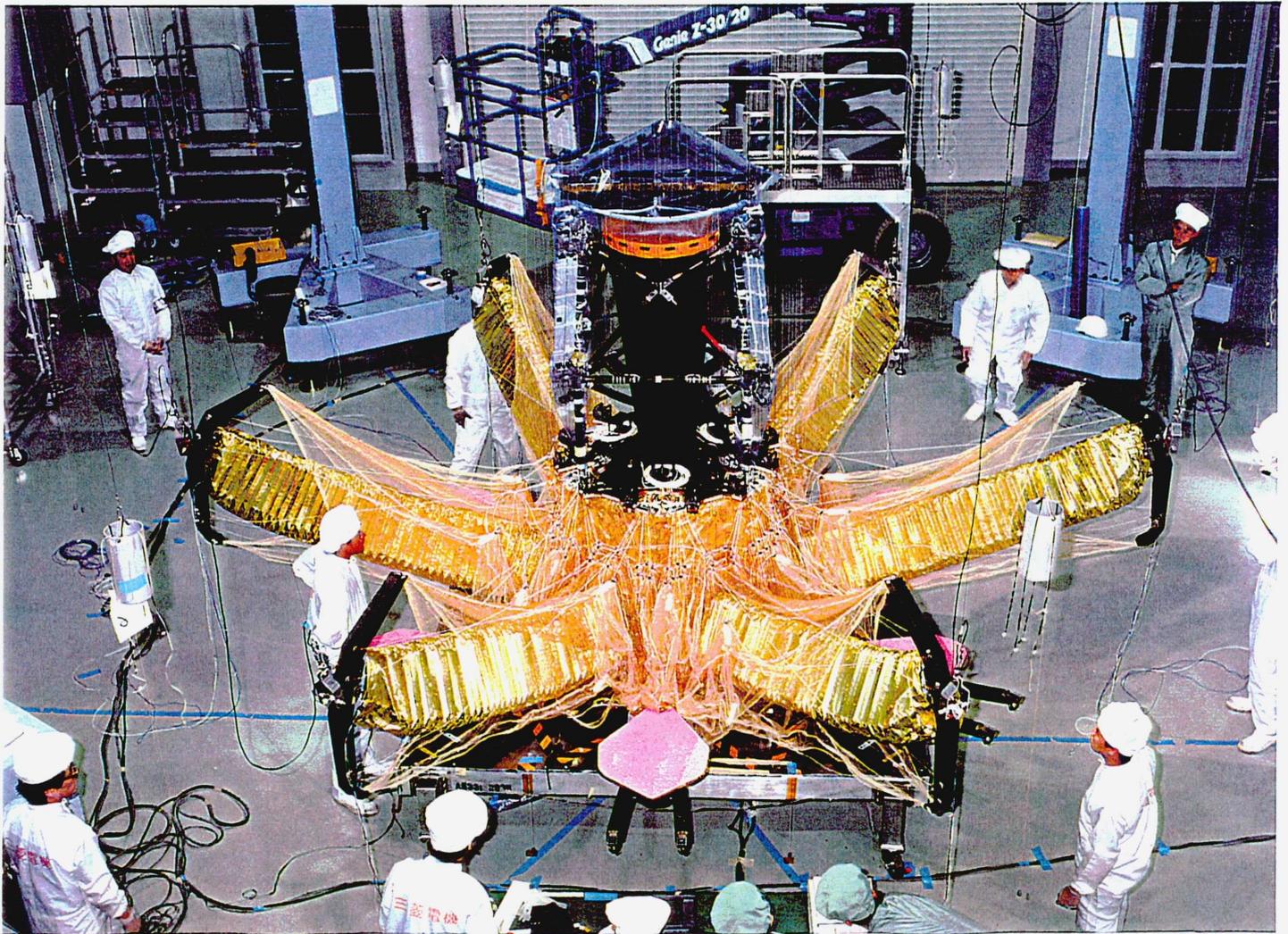
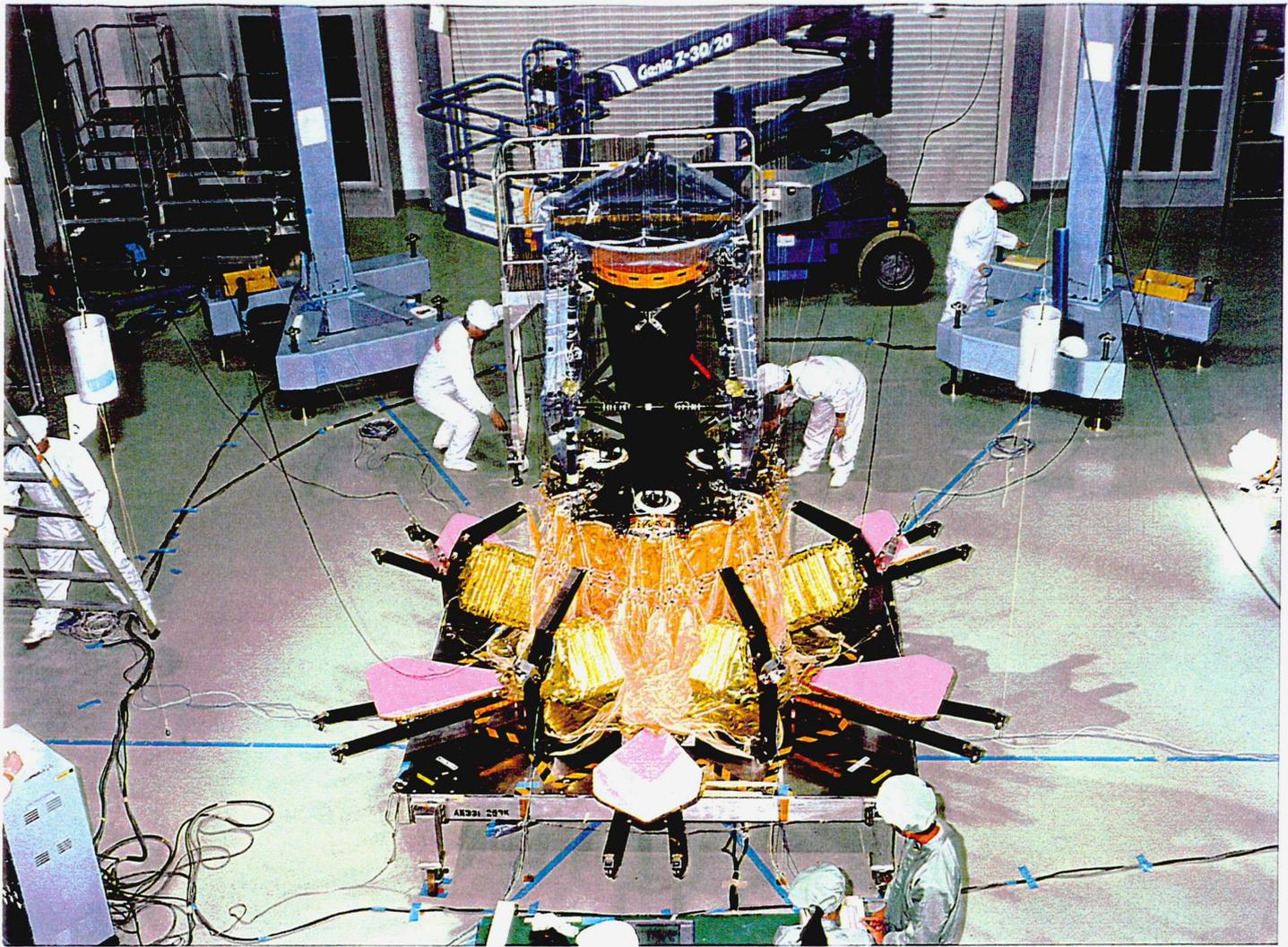
以上により、有効開口径8m、構造物最大径10mのカセグレ
インアンテナが軌道上に形成されました。

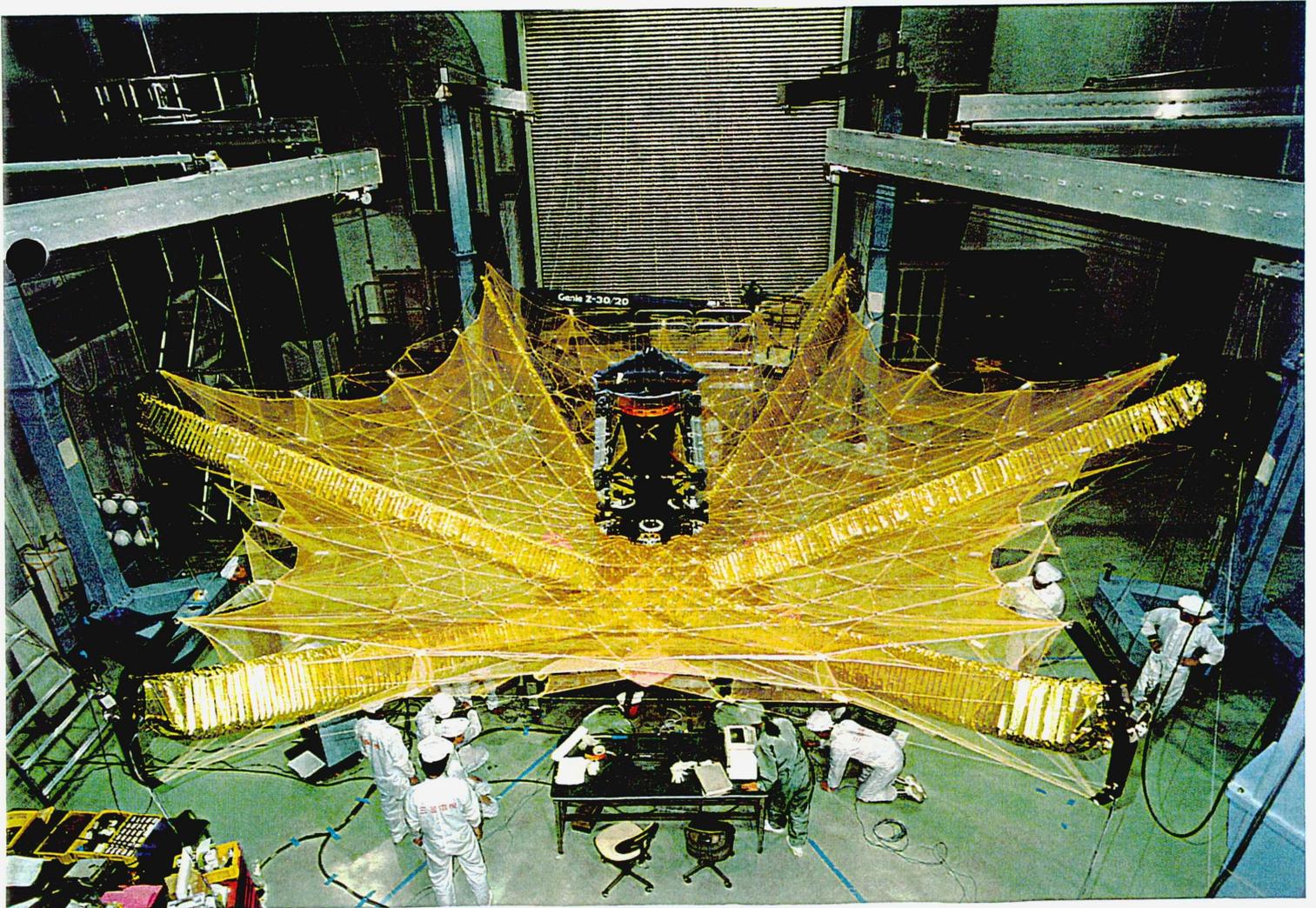
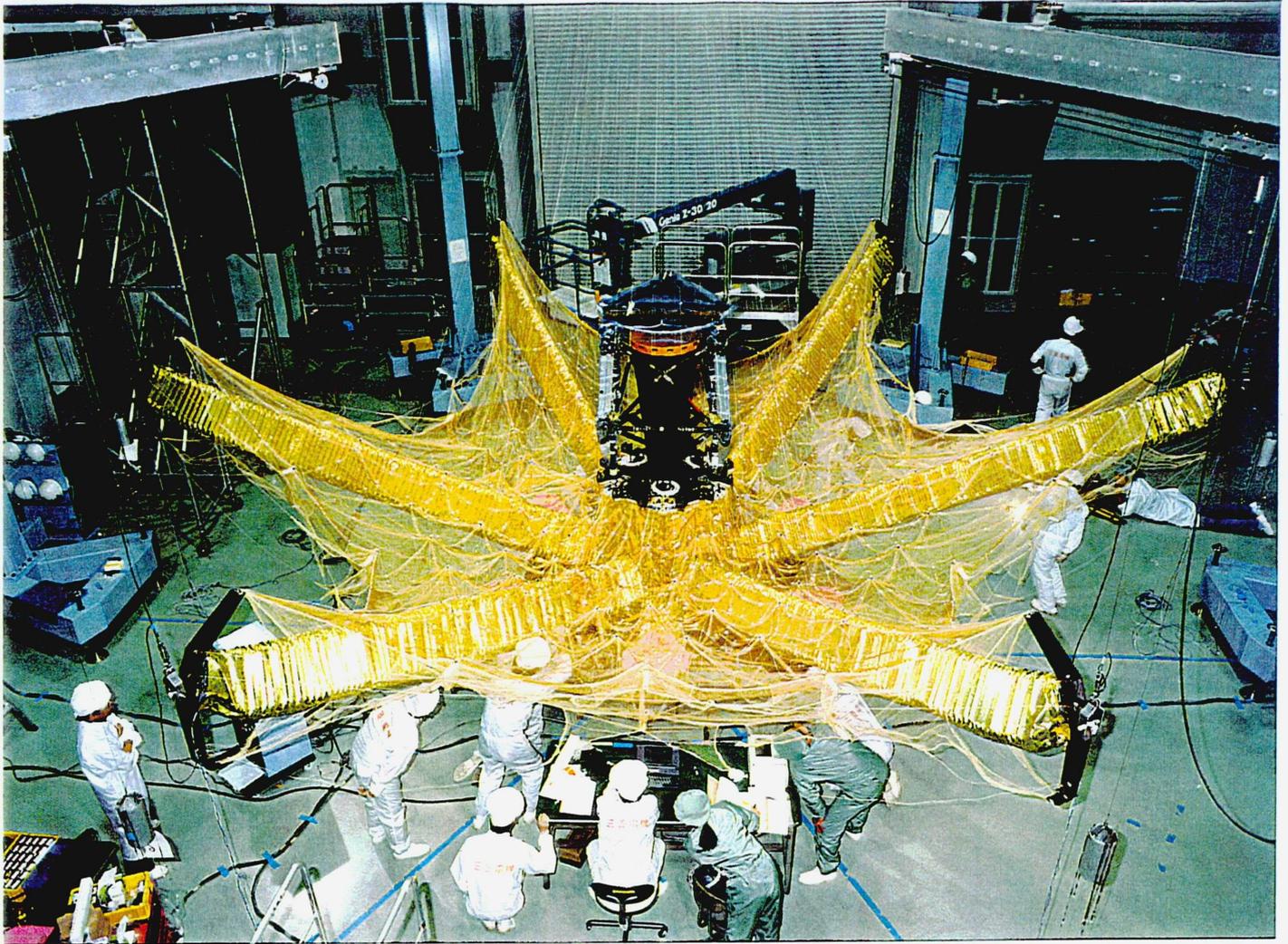
参 考

1. 副反射鏡の伸展
2. 主反射鏡の展開



副鏡の伸展





委 7 - 3

平成 8 年度宇宙開発委員会外国人招へいについて (案)

平成 9 年 3 月 5 日
宇宙開発委員会
決 定

平成 8 年度における宇宙開発委員会外国人招へいとして、下記の 2 名を平成 9 年 3 月 16 日から 20 日の間 (5 日間) 招へいすることとする。

記

○氏名：ペイバル・ルアングスリ

所属：タイ国家研究評議会 リモートセンシング部

役職：Director

○氏名：ニック・ナスルディン・マームドゥ

所属：マレーシア リモートセンシングセンター

役職：Director

招へい理由

平成9年3月17日（月）～19日（水）まで、東京のホテルニューオータニにおいて、第4回アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF-4）を、科学技術庁、宇宙開発事業団、文部省宇宙科学研究所の共催において開催する。

同会議は、平成4年11月に開催されたアジア太平洋国際宇宙機関会議において、当該地域における宇宙活動に係る協力の重要性が認識されたことに基づき、国際宇宙年の終了後においても継続的にアジア太平洋地域の宇宙機関による意見交換の場を設けることが提唱されたことを受けたものである。

第1回会議は平成5年9月に、第2回会議は平成6年10月に、第3回会議は平成8年3月に東京にて開催された。

今回招へいを予定しているペイバル・ルアングスリ氏の帰属するタイは、早くから人工衛星を利用したりリモートセンシング技術の重要性を認識し、科学技術環境省・国家研究評議会（NRCT）にリモートセンシング部を設置している。我が国の衛星についても、MOS-1、JERS-1データを直接受信し、データの利用を進めている。さらに、ADEOSデータについても受信を希望する等、我が国がアジア太平洋地域において、国際協力を進める上で重要な役割を果たしている。

また、本年1月、同国はカナダと小型リモートセンシング衛星（TRSSS）に係る共同プロジェクトの契約を締結しており、宇宙開発に対する積極的な取り組みが伺える。

以上のようなアジア太平洋地域におけるタイの重要性に鑑み、APRSAF出席の機会に宇宙開発委員会と意見交換を行うことは、今後、同国と宇宙開発の分野で連携を進めつつある我が国にとり極めて有意義であると考えられる。

【宇宙開発委員会招へいの際の話題】

- ・ リモートセンシング及び小型衛星の現況
- ・ 地球観測データ利用パイロットプロジェクト
- ・ ADEOSデータの直接受信
- ・ タイの宇宙機構改革について

招へい理由

平成9年3月17日(月)～19日(水)まで、東京のホテルニューオータニにおいて、第4回アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF-4)を、科学技術庁、宇宙開発事業団及び文部省宇宙科学研究所の共催にて開催する。

同会議は、平成4年11月に開催されたアジア太平洋国際宇宙機関会議において、当該地域における宇宙活動に係る協力の重要性が認識されたことに基づき、国際宇宙年の終了後においても継続的にアジア太平洋地域の宇宙機関による意見交換の場を設けることが提唱されたことを受けたものである。

第1回会議は平成5年9月に、第2回会議は平成6年10月に、第3回会議は平成8年3月に東京にて開催された。

今回招へいを予定しているニック・ナスルディン・マームドゥ氏の帰属するマレーシアリモートセンシングセンターは、マレーシアにおける中心的な宇宙研究開発機関として重要な役割を果たしている。また、同氏は従来よりAPRSAFにおいてマレーシアリモートセンシングセンターを代表して一般発言を行っており、同国の宇宙開発体制の枢要な任務を任されている。

したがって、同氏と我が国の宇宙開発委員会が意見交換を行うことは、今後、同国と宇宙開発の分野で連携を進めつつある我が国にとり極めて有意義であると考えられる。

【宇宙開発委員会招へいの際の話題】

・マレーシアにおける宇宙開発現況

(リモートセンシング及び小型衛星開発の現況等)

招へい者滞在日程（案）

3月16日（日）移動日

17日（月）APRSAF-4出席

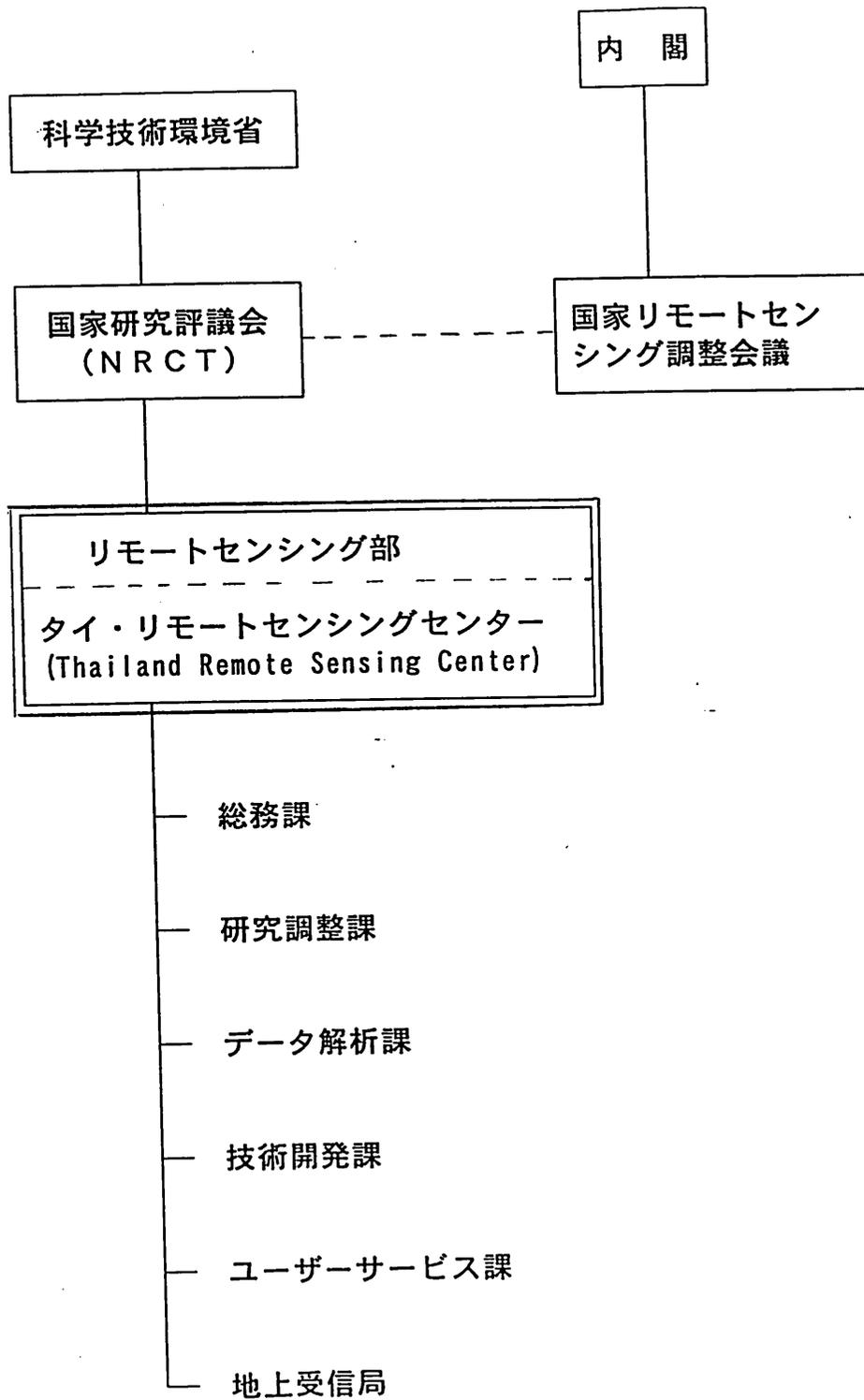
18日（火）APRSAF-4出席

19日（水）午後 宇宙開発委員会懇談会出席

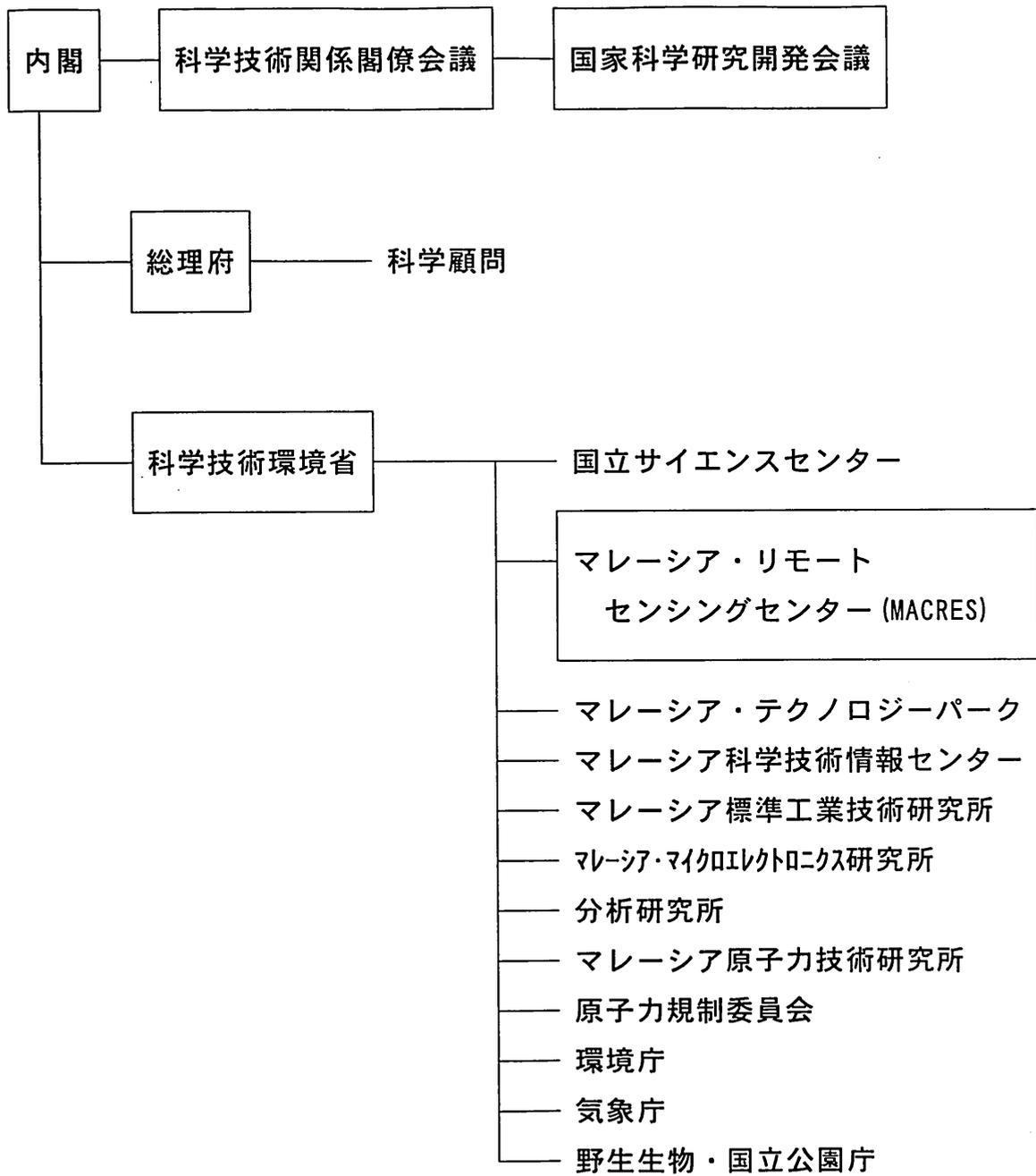
20日（木）移動日

*宇宙開発委員会との意見交換については、3月19日（水）午後の宇宙開発委員会懇談会の場を予定しているが、今後招聘者と調整を行う予定。

タイ王国におけるリモートセンシング推進体制図



マレーシア科学技術行政機構 (抜粋)



第4回アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF-4）の開催について

1. 開催の目的

- ・アジア太平洋地域の宇宙機関及び国際組織の代表による宇宙開発政策等についての意見交換
- ・アジア太平洋地域における宇宙分野の協力のための共通関心分野の検討等
 - * 1992年に我が国で開催された「アジア太平洋国際宇宙年会議」での合意を受け、93年9月に第1回アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF-1）、94年10月に第2回会議、96年3月に第3回会議が開催されている。

2. 会議の概要

(1) 主催者

科学技術庁、宇宙開発事業団、文部省宇宙科学研究所

(2) 開催日程

平成9年3月17日（月）～19日（水）
（19日は終日エクスカージョンの予定）

(3) 開催場所

ホテルニューオータニ（東京都千代田区紀尾井町4-1）

(4) 参加者

アジア太平洋地域の宇宙機関の幹部等（別紙1）

(5) 主な議題（別紙2）

- ・科学技術庁／宇宙開発事業団ミッションに関する報告（小型衛星及びリモートセンシング）
- ・リモートセンシング（パイロット計画等）
- ・利用者のためのAPEC地球観測セミナーの結果紹介
- ・宇宙活動における地域協力（ESCAPの活動、RESTECの訓練等）
- ・地域におけるリモートセンシングネットワークの構築に向けて

(参考)

- ・第5回アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF-5）を、モンゴル（モンゴル国立リモートセンシングセンター）及び日本（科学技術庁、宇宙開発事業団及び文部省宇宙科学研究所）の共催で、モンゴルにて開催することを現在検討中。

A P R S A F - 4 参加予定者リスト (平成 9 年 3 月 4 日現在)

Bangladesh Dr. Anwar Ali
Chief Scientific Officer, Bangladesh Space Research
and Remote Sensing Organization

Canada Mr. Marcel St-Pierre
Manager, Market Development and Commercialization
Radarsat Operations, Canadian Space Agency

 Dr. Frederick Campbell
Manager, Program Development Geomatics Canada,
Canada Centre for Remote Sensing

China Mr. Cheng Yongzeng
Vice Director, Department of Foreign Affairs, China
National Space Administration

 Prof. Chen Shupeng
Consultant, National Remote Sensing Center

India Dr. K. Kasturirangan
Chairman, Indian Space Research Organization

Indonesia Prof. Wiryosumarto Harsono
Chairman,
National Institute of Aeronautics and Space

Kiribati Mr. Meita Beiabure
Secretary for Information, Communications & Transport
Ministry of Information, Communications & Transport

Korea Prof. Soon Dal Choi
Director,
Korea Advanced Institute of Science and Technology

 Dr. Keun-Ho Chang
President, Korea Aerospace Research Institute

Malaysia Mr. Nik Nasruddin Mahmood
Director, Malaysian Centre for Remote Sensing

Mongolia	Dr. Badarch Mendbayaryn Director, National Remote Sensing Centre of Mongolia
Nepal	Dr. Swoyambhu Man Amatya Director, Forest Research & Survey Center
Pakistan	Mr. Sikandar Zaman Chairman, Pakistan Space & Upper Atmosphere Research Commission
Singapore	Prof. Yean Joo Chong Director, Vital Technology
Sri Lanka	Dr. Sanath Padmasiri de Alwis Deputy Director, Arthur C. Clarke Center for Modern Technologies
Thailand	Dr. Paibul Ruangsiri Director, Remote Sensing Division, National Research Council of Thailand
Viet Nam	Dr. Hoang Viet Giao Scientific Secretary, Vietnam National Council for Space Technology Application

(国際機関など)

ESCAP	Dr. He Changchui Chief, Space Technology Applications Section/ESCAP
ISU	Dr. George P. Haskell Vice-President for Academic Services & Outreach, International Space University

A P R S A F - 4 スケジュール概要 (案)

・ 3月17日 (月)

- 9 : 3 0 開会 (文部省宇宙科学研究所)
 9 : 3 5 歓迎の辞
 9 : 5 5 基調講演
 1 0 : 4 5 科学技術庁 / N A S D A ミッションに関する報告
 (小型衛星及びリモートセンシング)
 1 1 : 2 0 国際データ配布原則の枠組み (I S U)
 1 2 : 0 0 昼食
 1 3 : 3 0 リモートセンシングデータの利用
 - 地球観測衛星データ配布原則と現状
 ・ A D E O S データ配布原則と現状
 ・ カナダの RADARSAT1 計画の現況等
 - A D E O S 応用研究
 (討 議)
 1 5 : 0 0 休憩
 1 5 : 3 0 リモートセンシングデータの応用
 - リモートセンシングのパイロット計画について
 (討 議)
 1 7 : 3 0 一日目議事終了
 1 8 : 0 0 レセプション

・ 3月18日 (火)

- 1 0 : 0 0 利用者のための A P E C 地球観測セミナーの結果紹介
 1 0 : 3 0 宇宙活動における地域協力
 - 宇宙科学 (I S A S)
 - 訓練 (R E S T E C)
 - タイ国における N A S D A の役割・活動
 - E S C A P の活動報告 (ハーモナイゼーション)
 (討 議)
 1 2 : 3 0 昼食
 1 4 : 0 0 地域におけるリモートセンシングネットワークの構築に向けて
 - E O C 活動報告
 - N A S D A の活動
 (討 議)
 1 5 : 3 0 休憩
 1 6 : 3 0 議長総括 / 次回会合について / 閉会

・ 3月19日 (水)

- 航空宇宙技術研究所 (調布) 及び宇宙開発事業団地球観測
 センター (鳩山) の見学 (終日)